

2013 年度日本魚類学会年会 「高校生研究発表」募集要項

期日： 2013 年 10 月 4 日（金）、5 日（土）

※どちらか 1 日のみの参加も可能です。

会場： 宮崎観光ホテル

〒880-8512 宮崎県宮崎市松山 1-1-1

対象者： 高校生および引率教員

対象範囲： 魚類の生物学に関する研究（分類、系統、形態、分布、生態、行動、生理、発生、遺伝など）。
指標生物による水質調査などで魚類が含まれているだけのものや、クラブの単なる活動報告
などは受け付けられません。

募集件数： 10 件程度（応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。その結果は 9 月 3 日（火）までに
電子メールにてご連絡します）

発表形式： ポスター発表とします。掲示スペースは 1 題につき横 90×縦 170cm です。

発表詳細： ポスターは、4 日、5 日の両日参加される方は 4 日の午前中に、どちらか 1 日だけ参加され
る方は参加日の午前 10 時までに掲示し、午後 4 時には撤去して下さい。また、両日ともコ
アタイム（後日ホームページ上でお知らせします）には必ず発表者がポスターの前に待機し
て、希望者に発表をしてください。

参加費： 無料（ただし、演者の高校生 3 名までと引率教員 1 名までに限ります。それを超えて参加さ
れる場合は、年会の一般参加者として事前の Web 登録あるいは当日の会場受付での参加申
込みを行い、定められた料金をお支払いください）。

申込方法： 発表課題ごとにまとめて、下記宛先に電子メールにてお申し込みください。その際、講演要
旨も同時に添付してお送りください。要旨の書き方については、次頁の「講演要旨の書き方・
作例」をご参照下さい。

※必ず教員が代表してお申し込みください。

記入必要項目：「発表者氏名（ふりがな）」・「引率教員名（ふりがな）」・「高校名」・「発表
題名」・「連絡先住所、担当者名」・「連絡先電子メール、電話・FAX 番号」・「参加希望日」・
「参加者（生徒 3 名、教員 1 名まで）」

宛先： 本村浩之（motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp）

締切： 2013 年 8 月 30 日（金）

※基本的な事項は一般参加者に準じますので、その他詳細や最新情報は日本魚類学会 HP
（<http://www.fish-isj.jp/>）をご覧ください。

講演要旨の書き方・作例

- ・ 図表（写真含む）は講演要旨には掲載できません。
- ・ 句読点には「、」および「。」を使用し、数字はすべて半角で記述してください。
- ・ 機種依存文字（ローマ数字、囲み数字、半角カタカナなど）は使わないでください。
- ・ 文字数は 1000 字以内とします（題名、発表者名、所属なども含む）。
- ・ 講演要旨は Microsoft Word で作成するか、あるいは Word 形式で保存したファイルとしてください。それが不可能な場合には、プレーンテキスト形式のファイル、あるいはメール本文に直接記入してください。
- ・ 発表者の中から 1 人を「発表代表者」に選び、その左肩に「°」を付けてください。発表代表者は、当日のポスター貼り出しやコアタイムの発表の責任者を兼ねます。
- ・ ファイル名は「発表代表者名_講演要旨」としてください。（下記の例では日向あかね_講演要旨.docx）

<講演要旨 例>

宮崎県一ツ瀬ダム湖におけるオオクチバスの食性

°日向あかね・日南里子・内海 登（日向海洋高等学校）

オオクチバスは、スズキ目サンフィッシュ科に属する北米原産の肉食性淡水魚で、日本各地の止水域を中心に在来の生物群集に悪影響を与えている。そこで、我々は宮崎県の一ツ瀬ダム湖において、本種の食害の程度や範囲を検証する目的で食性調査を行った。

標本は 2011 年 9 月から 2012 年 8 月まで毎月 1 回、ルアー釣りにより採集した 156 個体である。採集個体は現場で氷殺して持ち帰り、標準体長と体重を測定したのち解剖した。摘出した胃の内容物について、可能な限り低位の分類群まで同定を行い、その個体数と湿重量を記録した。また、池に生息する魚類を網モンドリ、釣り、投網、タモ網で採集した。これらは現場で種同定と計数を行い、その場で放流した。

オオクチバスの胃からは、ヌマチチブが年間を通じて最も高頻度で出現した（出現率 76.2%）。オイカワ（出現率 40.6%）やスジエビ（出現率 39.7%）も高頻度で出現した。これら 3 種は、被食個体数や重量比でみた場合も上位 3 種に位置した。また、7 月にはコイやフナ属の稚魚がよく出現し、25 cm 以上の大型個体からは年間を通じて疑似餌であるワームの切れ端がよく出現した。季節的な傾向としては、夏や秋には魚類の出現率が高く、冬から春にかけてスジエビや水生昆虫の出現率が高くなった。一方で、生息魚類調査では、オオクチバスによく捕食されていたもの以外に、ブルーギルやワタカが多数採集された。このことから、ブルーギルやワタカはオオクチバスに捕食されにくいと思われ、オオクチバスの食害による影響の程度は生物によって異なると考えられる。また、コイとフナ属については、30cm 以上の大型個体のみが採集された。コイやフナ属は、成魚はオオクチバスに捕食されないものの、仔稚魚は盛んに捕食されるため再生産はできておらず、現在生息している成魚の寿命が尽きれば、絶滅する危険性がある。

高校生研究発表 Q&A

Q：そもそも、学会でのポスター発表がどんなものか分からない。

A：ある一室に、たくさんのポスターを貼り出し、学会参加者が期間中自由に興味のあるポスターを読んで回ります。また、期間中の定められた時間帯（コアタイム）には、発表者がポスターの前に立ち、興味を持った人に発表（説明）します。コアタイム中、それを何度も繰り返します。

Q：発表（説明）時間は何分ですか？

A：1回の発表の時間は特に決まっていますが、5分くらいが目安です。

Q：高校できれいに印刷できないので、学会にファイルを送るので印刷してほしい。／持って行くのが大変なので、事前に郵送したい。

A：日本魚類学会や、年会実行委員会、年会会場ではポスターの印刷や郵便受取は扱っていません。必ず自分で印刷（作成）し、会場まで持参してください。1枚の大きな紙で作っても、複数の紙を並べても構いません。

Q：授業やクラブ活動ではなく、個人的に行った研究なので、生徒単独で申し込みたい。

A：生徒個人による研究であっても、必ず先生を通して申し込んでください。担当の先生には、申込み様式や講演要旨の書式等に間違いや漏れがないかどうか、また発表内容が募集要項の対象範囲に合致しているかなどについて、面倒を見ていただければ良く、発表者に入っていないなくても構いませんし、当日ご参加いただかなくても結構です。

Q：課外活動の成果のため、クラス全員で研究した成果なのですが、そんなにたくさんの名前を書くと講演要旨の文字数が足りません。

A：クラスやクラブの全員で行った成果を発表するような場合、発表者は当日参加する高校生および教員（高校生3名＋教員1名以内）としてください。

Q：一般のポスター発表や口頭発表も聴講できますか？

A：聴講可とします。積極的に聴講して、おおいに知的刺激を受けてください。

Q：一般参加者は、分厚い「講演要旨」という冊子を持っているようですが、もらえないのですか？

A：一般講演の講演要旨は、特別枠である高校生研究発表の参加者の方にはお渡ししていません。当日、会場受付で販売していますので、必要に応じてお買い求めください。

Q：遠方なのですが、旅費は支給されますか？また、宿泊の斡旋等がありますか？

A：申し訳ありませんが、交通費は自費でお願いします。また、宿泊の斡旋もしていませんので、各自予約をお願いします。

Q：4日（金）に行われる懇親会にも参加できますか？

A：高校生研究発表の募集締切りが、懇親会申込み締切りより後になること、夜間に設定されていること、酒類が自由に手に取れる形で配膳されること等から、ご遠慮頂いています。